

2018 - 19年度 RI テーマ



インスピレーションになるう

Rotary International
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

新しく生まれ変わろう
ークラブネッサンス

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：品川 芳洋
●幹 事：堀内 伸也
●会報委員長：高岡 正和

今週のプログラム

第2218回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「クラブソング」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会員及び会員夫人誕生月祝 品川会員、柳会員
- ⑤ 会員結婚記念日祝
石川会員、桑田会員、森田会員
- ⑥ 例会決議
- ⑦ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑧ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑨ 「ロータリーの友」紹介
浅井 寿徳広報・雑誌委員長
- ⑩ 卓話 「次年度の会長方針」
長尾 穰治会長エレクト
- ⑪ 閉会 点鐘

* 例会前：4月度定例理事会

★例会後：第4回次年度理事役員会合

* 4/13(土)

2019～2020年度のための地区研修・協議会

於：大阪国際会議場

登録開始：12:00 開会 12:30 閉会予定 17:00

出席者(次年度役職者) 長尾会長、辻田幹事、

堀内副会長・クラブ運営委員長・SAA、
石川職業奉仕委員長、大橋社会奉仕委員長、
高橋国際奉仕委員長、上山青少年奉仕委員長 代理
中澤会員、上田R財団委員長 代理高岡会員、
森下米山奨学委員長、品川クラブ研修リーダー
出席予定

* 4/18(木) 第95回四輪会ゴルフコンペ

(ホスト：八尾東RC)

於：飛鳥カントリークラブ TEL：0743-69-2133

9:00 スタート前室集合

9:36 OUT・IN 同時スタート

高岡会員、高橋会員、堀内会員、中澤会員

柳会員、山田会員

参加予定

来週の予定

第2219回例会 4月19日(金)

☆卓話なし

☆第5回クラブ協議会

◎クラブ協議会后、次年度小委員会開催

前週の例会記録

2019年4月5日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2217回	27名	11名	52.4%	出席義務免除 7名(出1)
第2215回	27名	14名	66.7%	補 填 0名

★例会場：LINOAS(リノアス)8階 バンケットルーム 〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番

★例会日時：毎週金曜日12時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

ニコニコ箱

●新しい年号が発表されました。

親睦委員の皆さん、お世話になります。
安田さん、卓話を楽しみにしています。
山本さん、早く良くなって下さい。

品川 芳洋会員

●安田さん、卓話ご苦労様です。

親睦旅行お世話になります。 奥田 長二会員

●安田さん、卓話楽しみです。

親睦旅行お願いします。ケガなく楽しんで参りま
しょう。 高岡 正和会員

●今回合計 2,000 円

●累計 511,000 円

会長の時間

新しい年号「令和」が発表されました。我が国が誇る万葉集からの引用とのこと。

とりわけ万葉集は社会のいろいろな階層の人達の膨大な数の和歌が奈良時代に編纂されたものであるだけに、とても意義のある出处であると思います。

日本国民がこの年号発表に寄せる関心は高く、全国民が4月1日11時30分にNHKのニュースに注視する出来事は稀有なことと思われます。

総国民がひとつのまとまりをみせる日本という国の特殊な体質を考えると、よき方向にリードされることを祈るばかりです。

カルロス・ゴーン氏が保釈中にも関わらず再逮捕されました。伝えられるところによると彼は日本の検察の強引な取り調べ手法に抗し、フランス政府に自国民を守るべきだとアピールしているとのこと。フランスでは脱税嫌疑をかけられている人物が自分を守れと主張する姿勢に、われわれの文化との違い、受け容れることのできない違いを思わざるを得ません。

年号があらためられ、日本文化の良さを社会が共有するこの時期に、あまりにも異質な文化の違いを感じざるを得ません。

利益追求のみを企業及び自らに課し、およそ徳を重

んじる日本の優れた企業家の崇高な生き方にほど遠い姿はフランスという文化国家自身のイメージを打ち砕くものです。

幹事報告

【配布物】

なし ※親睦旅行、事務局員不在のため

【連絡事項】

①次週4/12(金)

例会前：4月度定例理事会

例会後：次年度理事役員会合

以上

卓話

「戦後、世界と日本の
技術進歩と経済」
安田 憲司会員



①戦後の復興期の日本の技術は、インフラの整備。

・昭和30年代初期、物心ついた時には、大阪環状線とJR、および近鉄沿線が走っており、バスは、市内ではトロリーバスが、主流。あと市電が走っていました。

その頃、地下鉄は1933年5月20日(昭和8年)梅田駅 - 心斎橋駅間が開業していましたが、あまり記憶にはありません。

・家庭では、3種の神器(テレビ・冷蔵庫・洗濯機)で、「あかるいナショナル」と言うCMソングで、一気に普及。

・昭和39年1964年、東京オリンピック開催。(この時にホテルや建売住宅に、ユニットバスが開発された。)

バレーボールの、大松監督率いる女子ニチボウ貝塚が金メダルを獲得。「黙って俺についてこい。」がその頃の流行語となりました。

柔道ではオランダのヘーシクが金メダル、マラソンではエチオピアのアベベが前回のオリンピックに次いで2連覇、金メダルに輝くと同時に、

日本代表 円谷浩二選手が、3位で銅メダル獲得。そして、この年昭和39年（1964年10月）夢の超特急、新幹線が東京—大阪間開通で、日本の大動脈となり、高度経済成長が加速。

・昭和40年代前半に入り、急激なモーターリゼーションで、車が普及。

1966年（昭和41年）に、トヨタの初代カローラが販売開始。（+100ccの余裕。日産 サニーと比較して「隣の車が小さく見えま—す。」がキャッチフレーズで、現在ではカローラは世界13カ国で生産され、150カ国以上で年間130万台以上販売されるベストセラーモデルとなっている。

1968年（昭和43年）日産ではスカイライン誕生、翌年今では伝説の、初代スカイライン GTR が誕生、モータースポーツの幕開け。

弊社も1968年（昭和43年）10月、先代が会社創立、

カラーテレビは1960年（昭和35年）開発されたが、高価過ぎて一般では買えなかったが、1970年（昭和45年）大阪万国博覧会開催と同時に、急激に普及。

リモコン搭載テレビも1972年（昭和47年）より、普及が加速、この昭和40年代は、日本の高度経済成長が、続いた時期です。

昭和50年代に入るとICやマイコンによる制御機能が搭載され、さらに現在主流となっているインバーター制御のエアコンも登場して、一気に家庭用クーラーが、また車にも、いわゆるカーエアコンが普及、より快適な暮らしが求められる。

1億総中流家庭の時代。

1980年（昭和55年）、今ではマイコンは単一のLSI（電子部品）を示す名称ですが、LSIをマイクロプロセッサ（あるいはMPU<Micro Processing Unit>）と呼び、いわゆるマイコンの普及です。

ここから、コンピューターが、大企業から中小企業へ、そして家庭へ、いわゆるパーソナルコンピューターが様々なところに、普及していきます。そして、今迄日本が経験したことが無い、バブル

経済がおとずれ、土地成金や、株で大もうけした成金等が、大勢現れて、日本は夢の世界へ突入。

※ジュリアナ東京や、シーマ現象（大型乗用車が売れる）等が、社会的現象となるが、地道に技術を追求する私共は、逆にバカにされる。

例：ある顧客が、「ユタカさん、金があれば研究費に使わず、株を買いなはれ、株買わない奴はアホや。」と言いました。

1985年（昭和60年）プラザ合意で、1ドル360円の時代から、200円以下に、一気に円高が推移、それにつれて株価が大幅にあがる。

※1970年代の、車での貿易摩擦に続き、1980年代は、日米半導体摩擦が、起きる。

一般的に1986年（昭和61年）12月～1991年（平成3年）2月までの4年3ヵ月間の間に起きた、資産価格の過度な高騰とそれに伴う好景気の事をバブル景気と言ひ、特に1980年代後半は東京の山手線の内側の土地価格でアメリカ全土が買えるという試算が出るほど日本の土地の値段は高騰。

また、同様に1980年代後半には株価も一気に上昇となり、1986年（昭和61年）に13,000円台から39,000円台に跳ね上がった。

※バブル期に証券会社に入社した、新人のボーナス袋が縦に立つとの、伝説がありました。

1987年（昭和62年）ソニーのウォークマンが爆発的に売れる。

1989年（平成元年）ごろ、パチンコ業界はフィーバー（マイコン管理のパチンコ台）が流行り、空前のパチンコブームとなり、パチンコ業界市場は、年間30兆円の巨大市場となります。

日本経済がバブル期（安定成長期）終焉後である1991年（平成3年）から約20年にわたり低迷した期間（好景気時でも実質経済成長率が5%以下の低成長）に突入。

1991年（平成3年）、株式会社ユタカに組織変更、社長就任。

そして、日本経済は、重厚長大型から軽薄短小の時代に、変換をしなければ生き残れない、厳しい時期

になります。

弊社は、1992年（平成4年）に通産省より補助金を受け、次世代のCPU（表面実装）部品の検査装置開発に、着手し、これが弊社の成長の原動力となります。

1999年（平成11年）BGA検査装置販売開始、インテルOEM台湾メーカーや韓国、サムスン・LG電子等に採用される。

日本国内電子メーカー製造の、周辺端子CPUが、一気に旧式となり、日本政府通産省（現経済産業省）内部でも、深刻な問題となる。

アップルは2001年（平成13年）に発売した「iPod（アイポッド）」に、音楽管理ソフト、音楽配信サービスを組み合わせて提供し、ユーザーを囲い込んだ。

スマートフォン「iPhone（アイフォーン）」は、世界中の開発者が競って発表するアプリ（ソフト）で、手軽に機能を拡張できる携帯電話のイノベーション（革新）を起こし、現在に至る。

このころから、家電製品やパソコン・ハードディスク・他、あらゆる製品の、デジタル化が進む。

車では1997年（平成9年）販売開始のハイブリット車プリウスが、2003年（平成15年）2代目プリウスとなり、ホンダ・日産等自動車各メーカーがハイブリット車を生産し、車業界はハイブリットが主流になっていく。

2002年9月17日（平成14年）には [iRobot](#) 社がRoombaを米国で世界初のお掃除ロボットを発売、2004年（平成16年）から日本市場に投入された。

また同年3月に、開発したパナソニックの試作機は世界で初めて安全系および集塵系センサを搭載した一般家庭向けの自動掃除ロボットだった。

2008年（平成20年）7月11日、日本でアップル社のiPhoneを発売。

2010年（平成22年）から、パナソニック、ソニー、サムスン電子など家電大手各社が3Dテレビの販売を開始した。

当初は大々的に売り出したが、高額な価格帯、コンテンツ不足、3D眼鏡の着用、頭痛などの身体的負担などの要因からすぐに衰退していったが、東芝が

2011年（平成23年）に、世界で初めて4Kテレビ（55型）を発売した。

おなじく、2010年（平成22年）にアップル社がタブレットのiPad発売。iPadの成功で他社も参入し、以来、2010年代半ばには世界で数億台のタブレットパソコンが普及。

2012年（平成24年）にアメリカの「3D Systems」が個人向けの3Dプリンターとして「Cube」を世界で初めて発売しました。

元々、3Dプリンターの原理を最初に考えたのは日本人で、1980年（昭和5年）に名古屋市工業研究所の小玉秀男さんにより開発されたのがスタートです。

小玉氏は特許を出願しましたが、国内で実用化に興味を持つ企業が現れなかったようで、出願した特許は小玉氏が審査請求を忘れたままに留学しており、その間に出願審査請求の期限である7年が過ぎたため失効しました。

2015年（平成27年）頃より、モノのインターネット（IoT）技術が急速に普及、人工知能が注目される、「マジックリープ」技術で、映画のような未来が来る。

この技術によって、[ビデオ](#)チャットで相手を身近に感じられたり、バーチャルツアーを心身とも共堪能できたりすることができるなど、夢は広がるばかりである。

2018年（平成30年）家電製品や、通信機器・自動車のIoT化が益々進む。（例：はいメルセデスで、温度調節などが可能。）

2020年（？）の実用化を目前に話題になっているのが、次世代の「5G」である。

5Gでは当然、通信速度の向上が図られるが、ほかにもIoT時代に即した「同時多接続」や「低遅延」といった要素が盛り込まれ、人々の暮らしを一変させる可能性を持つ。

経済では、安倍政権が第4次内閣で、働き方改革を益々進めると予想される。

会員親睦旅行のご報告

親睦活動委員長 高岡 正和

4/5（金）・6（土）に天橋立方面に親睦旅行に行
って参りました。

初日は職業奉仕を兼ねて長尾職業奉仕委員長取
引先の（株）トーモク神戸工場の職場見学をし
ました。

（株）トーモクは昭和 15 年創業、昭和 24 年（1949
年）に缶詰用木箱のメーカーとして北海道に設立
されました。現在は段ボール・紙器・住宅・運輸
倉庫・商事事業を展開している会社です。

今回、訪問させて頂いた神戸工場は全国 17 工場
あるうちのひとつで敷地面積約 5 万㎡、建築面積約
2 万 4000 ㎡で平成 27 年 3 月に開設されました。
訪問すると先乗りして頂いた長尾会員夫妻とト
ーモクの社員の方が温かく出迎えて頂きました。
玄関を入ると真新しい建物の香りと玄関壁面が
ガラス張りになっており太陽の光が差し込んで
いました。

2F 会議室でプロジェクターを使用して会社概要、
神戸工場についてのお話を伺いました。

その後、インカム（トランシーバー）を耳に付け
社員の方の説明を受けながら工場内を見学させ
て頂きました。工場内は最新の機械が置かれ、ま
た自動化されているため社員も少人数でした。

重さ 1 t ～ 2 t ロール状の原紙を機会に設置し外
側、中芯、内側の 3 層を高速で貼りあわせ注文に
応じた大きさに段ボールシートが出来上がりパ
レットに積みあがっていきます。

また、違うレーンでは完成した段ボールシートに
印刷をし、定数を紐で結束し機械がパレットにき
れいに積み上げていました。

私自身、段ボール工場を見学させて頂いたのは初
めてでしたので非常に楽しく勉強になりました。

2 日目は伊根港より遊覧船に乗船し伊根湾めぐり
をしました。

乗船場にはウミネコ用の餌（かっぱえびせん
¥100）が置いてあり、それを購入し出港後船上
で餌を手にとるとウミネコの大群やトンビが手
に持っている餌めがけて飛んできて上手く餌だ

け取っていきます。

伊根湾は、日本海側には珍しく南に開けた静かな入
り江であり、東、西、北の三方を山に囲まれていま
す。

伊根湾と日本海の接するほぼ中ほどに、自然に築い
た防波堤のように緑濃い青島が浮かんでおり、伊根
湾の入り口を二分しているため波を起しにくい
地勢を形成しています。

伊根湾の海岸沿いには約 230 軒の舟屋群が伊根湾を
囲むように立ち並んでおり、舟屋とは 1 階が船のガ
レージ、2 階が居室という大変珍しい建物で重要伝
統的建造物群保存地区の選定を受けています。

伊根湾めぐり後、日本三景のひとつである天橋立を
を見下ろせる傘松公園に向かいました。ケーブルカ
ー・リフトで約 400m 上がった山上に傘松公園があ
り、その道中の両側には満開の桜が咲いていまし
た。

傘松公園から観る天橋立は『斜め一文字』と呼ばれ、
股のぞきをして観ることもできます。

公園からさらに徒歩で 3 分ほど登ると『傘松』とい
う名の松がある『股のぞきの発祥地』があります。
山上から見る天橋立は非常に美しく、自然がつくり
だしたとは思えないほど神秘的で心に残りました。

昼食は出石城近くのドライブインで名物の出石皿
そばの定食を頂いて帰路につきました。

2 日間とも天気にも恵まれ、この旅行でさらに会員
間の親睦も深められたと思っております。

ご参加頂いた会員の皆様には感謝申し上げます。あ
りがございました。





第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB